

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

福幸の家

グループの名称

きつつき会

直近採択グループ番号

04-0196-0147

(グループ代表者)

代表者名

柳沼 利保

代表者印

代表者所属先

有限会社柳沼工匠

代表者所在地

福島県郡山市田村町御代田字中平52

代表者電話番号

02-4955-3908

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ツボイ

事務局担当者名

金川 将太

印

事務局郵便番号

963-8041

事務局所在地

福島県郡山市富田町字諏訪西50

事務局電話番号

02-4966-0301

事務局FAX

02-4952-2944

事務局担当者E-mail

kabutuboi9320301@nifty.com



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		21	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	21	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	4	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		38	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	38	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		6	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		12	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	12	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		15	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	15	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		8	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		17	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	17	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/						
			0㎡							
		申請が未確定	0棟							
			0㎡							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	着工の早い順に割り当てていく									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	20	戸	交付申請戸数	16	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	16	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福幸の家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県、宮城県、山形県、岩手県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) きつつき会	(結成年) 2006年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0196-0147	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	「きつつき会」の特徴でもある、地域の技術力の高い中小工務店の集団と言う点を更に重んじ、技術者向上・継承の勉強会に力を入れて活動する。福島県の豊富な森林を活用し、伐採・製材・プレカット加工等の普段、お施主様が見ることが出来ない部分まで公開し、地元の風土に合った地域材の促進をお施主様に納め得て頂けるような性能を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	将来的に循環型住宅を目指し、移築可能で耐震性能、気密性の高い在来工法(APS工法等・仮設住宅でも実績あり)を技術の継承も含めて推進していく。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域材を高品質な乾燥材として需要対応し、内観デザインに多く採用する。更に、地域の気候・風土に根差した環境に優しい地域循環型の製材・乾燥材を多く取り入れ、地域に調和する外観デザインにも力を入れていく。	◎
④①～③の背景	福島県は、国内でも有数の森林を有する八溝山系の1県となっており、豊富で且つ上質な国産材を提供できる。また、平成23年に起きた、東日本大震災被災地と言うこともあり、地域の方々が、耐震性能を重要視するようになり、構造材に関する関心が震災前よりも高まった。この地域特性への対応として、地域材使用を中心とした仕様とする。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	尺貫法を用いる在来工法。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 高い技術者が多くグループ員に所属する事を特徴に、新建材にばかり頼ることなく、地域材の活用を活性化させることにより、木材仕入業者の調達力をアップさせる。標準仕様としては、構造耐力上主要な部分に於いて、1/2以上を地域・合法木材を使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 構造体力上主要な部分において、1/2以上を地域材・合法木材を使用する。	◎
②-1 建材・資材調達の共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ構成員を利用し、調達の共同化を図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局をプレカット業者が担うことにより、建材・資材調達のバランスを管理し、随時、グループ員への情報を告知する事により合理化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 従来から行われている年6回の勉強会開催の際に、事務局により生産状況、需給状況を発表し、グループ員の意見交換を行い、検討会を実施する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 需給のバランスをしっかりと事務局として把握し、年6回の勉強会を中心に不足する場合は都度、グループ員に報告する役割を担う。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 年6回の勉強会のうち、3回は技術研修を行い、最新の技術と伝統技術の両面に於いて情報交換を行い、技術者同士のチェック・確認を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工状況の写真を勉強会時に持ち寄り、施工が適切か、地域材の活用がなされているかをルールとし、確認を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内の生産体制を活用し、材料に関しての仕入れ見積りの統一化、施工手間の情報交換による適正化等、勉強会の際に情報の共有を行う。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地域コミュニティイベントを開催し、技術者集団としてのグループの信頼性向上に取り組む。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>幸福の家</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>福島県、宮城県、山形県、岩手県</b>
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) <b>きつつき会</b>	(結成年) <b>2006 年</b>
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	<b>04-0196-0147</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	グループ構成員それぞれが持っている顧客名簿の管理をしっかり行う。また、顧客管理支援システム<住宅履歴の図書館>の活用を推進し、当システムのサービス項目、管理・通知・点検・報告・共有・蓄積の充実を図る。	
①	住宅履歴情報の蓄積	○
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理表の作成とそれに則った定期訪問の実施。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 顧客管理支援システム<住宅履歴の図書館>を活用する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社データにて保存	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に1回以上は、住まい手に直接ヒヤリングを行う。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で、メンテナンスについての情報交換を図る。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回以上のヒヤリングを行い確認する。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年6回の勉強会の際に、維持管理・メンテナンスが定期的に行われているかの確認をする。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域コミュニティイベントを開催し、建て方実演、木工教室を行い、家づくりのノウハウ伝えていく。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域コミュニティイベントを開催し、住まいの相談ブース設け、地域の方々の相談に乗る。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年6回の勉強会の際に、維持管理検討委員会を設置する。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年6回の勉強会の際に、維持管理の情報交換を行う。	◎
b	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理の継続が困難になった場合、グループ員全員でのバックアップを必須とする。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年6回の勉強会の際に、維持管理の情報交換を行う。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年6回の勉強会にて、経験工務店が、未経験工務店に取り組みのポイントを教える。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工状況の写真を勉強会時に持ち寄り、施工が適切か、検討をする。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工状況の写真を勉強会時に持ち寄り、施工が適切か、確認をする。	◎
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年6回以上の勉強会にて、机上だけでなく現場にて行う。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員は、自社の加工工場など公開をする。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 48 今年度の参加目標人数 10	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 52 今年度の参加目標人数 10	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて講習日を連絡する	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロ・エネルギー住宅、認定低炭素住宅にも、グループ内の経験工務店が指導をする。	◎
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 性能向上計画認定住宅に取り組む	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福幸の家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県、宮城県、山形県、岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) きつつき会	(結成年) 2006年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0196-0147	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a		◎、○ 記入欄
① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台、柱、梁、桁、小屋組、斜材等、構造耐力上主要な部分の1/2以上を地域・合法木材を使用する。	◎
② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	
	羽柄材    間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	
	造作材    枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
	板材    壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	グループ構成員の中での調達	
b		
①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に連絡する	◎
①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の中での調達のため、共通となる。(季節変動あり)	◎
② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 年6回開催している勉強会にて需給予測の報告をする。	◎
c		
①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 6枚	○
①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 4枚	○
①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 2枚	○
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 大工技術の伝承も含めて、自社大工による手作りの棚等作成する。	○
d		
① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 完成現場等を開催し、大工技術の継承した部分を説明する。	◎
② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 湿気の多い日本である事を自覚し、湿気対策など住まい手に説明する。	◎
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住まい手が心休まる街並みを形成するための配慮ある外観にする。	◎
④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「木」をふんだんに使用し、温かみのある「和」を意識できる内観とする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	被災地に当たる福島県として、まだまだ仮設住宅等の狭小住宅での生活を余儀なくされている方が多くいる。そのような方々に、建築業としての使命を全うし、グループ全体として、生産・供給体制をスムーズにし、工期を極力短くして数多くの建築を行っていく。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 福幸の家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県、宮城県、山形県、岩手県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) きつつき会	(結成年) 2006 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0196-0147	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

大工技術者集団としての高いレベル意識を持ち、「福幸の家」をテーマに、まだまだ需要のある復興住宅等に対し、将来を見据えた低炭素・自立循環型住宅・社会の実現にも貢献していく。

認定低炭素住宅についての取り組みとして、トイレは節水型、給湯器は高効率の物、バスルームやキッチンの水栓も節水型を使用し、省エネルギー性の高いものを採用する。

ゼロ・エネルギー住宅についての取り組みは、グループ全体で今年度は斡旋していく。また未経験工務店が経験する事により、グループ全体の住宅の性能に対する意識のレベルアップとなり、省エネルギーに寄与する形となる。太陽光、通風等にも注力を置き、高気密・高断熱と併せて、ネットゼロを実現した地域型住宅とする。また、全棟計算により、 $U_a$ 値・ $Mc$ 値・ $Mh$ 値を算出し、省エネシミュレーション、採光・採風シミュレーションを行い、建てる前からのどれくらいの光熱費で生活できるかを住まい手に提案する。